

【情報理工学部】令和7年度 FD 活動の「年間報告」

1. 学部独自の FD 活動についての報告（*は必須項目）

(1) 公開授業・ワークショップ

※公開授業と公開授業に関するワークショップが対象

①公開授業：

- ・科目「プログラミング演習 A」
- ・担当教員：安田・木谷・栗・永谷
- ・実施日時/場所：6/11, 6/18, 7/2, 7/9, 7/16 /10201・10302・10403・10203
- ・*参加人数 4 名

②FD ワークショップ：

【1 回目】

- ・実施日時/場所：6/25（水）13:15～14:45 / 14113 会議室&Teams
- ・*参加人数 15 名（職員・学生が参加した場合は内訳を記載してください）
- ・ワークショップでの意見交換内容：生成 AI に関する事前アンケートによる情報収集とその内容への意見交換（詳細は添付資料を参照）

【2 回目】

- ・実施日時/場所：3/25（水）10:30～12:00 / 14113 会議室&Teams
- ・*参加人数 13 名（職員・学生が参加した場合は内訳を記載してください）
- ・ワークショップでの意見交換内容：SB 社 AI チャレンジ教材（生成 AI 活用）の紹介と、1 回目の FD ワークショップの意見交換の続き（詳細は添付資料を参照）

2. 総括（今年度の学部 FD を通して得られた気づきや見つかった課題等）

情報理工学部の教員は、主には ChatGPT や Gemini は使っているか試しているものの、Claude については IT 業界で話題になる様子に比べ、試している人が少なめだったことがまず 1 つ。そして、この 1 年の間だけでも三大 LLM の進歩は目覚ましく、その内容をキャッチアップし続けている教員が少ないこともある。一方で、学生が生成 AI を適切に使って学んでいけるか否かの心配や懸念は尽きない。

3. 次年度に向けての取り組み

学生の生成 AI 利用を前提とした専門教育の在り方や方法論についての議論・実践

※この内容は当該年度終了後、本学における FD 活動の一環として、本学 HP に掲載します。